

後期高齢者医療保険料も国民健康保険税も 「年金天引きひどい!」の声に耳傾けよ

定例6月市議会が6月4日から開会しました。市長提案議案は条例1件、補正予算1件、契約2件、報告11件、人事2件など計20件です。日本共産党市議団は5人全員が質問に立ち、日本共産党に寄せられた市民要望実現に全力を尽くします。

市長提案議案に対する日本共産党の質疑は以下のとおりです。

議案1号・自転車駐輪場 条例の一部改正

大町駐輪場を市営としては廃止し、鉄道事業者の運営で有料化。また大野第2駐輪場は場所が移転するというものです。市民負担増や事業者責任、放置自転車対策など、桜井雅人市議が質疑に立ちます。

議案2号・木造保育園の 耐震補強関連補正予算

昨年9月議会一般質問で谷藤利子市議は、木造保育園8園が耐震対策などの安全対策がとられていないと追及しました。

6月市議会開会中 日程

- 5月28日 議会告示(議案配布)
- 6月4・5日 議案質疑
- 6月6日 常任委員会
- 6月9日 休会(委員長報告作成)
- 6月10日 議案採決・一般質問
- 11~18日 一般質問・議会終了

翌12月議会では、木造8園の耐震補強設計の補正予算が生まれ、08年度当初予算では工事費用2億7千万円が予算化。今議会では一部仮設園舎の補正予算が組まれたものです。

しかし、保護者からは、保育をしながらの工事への心配の声が多く出されています。幼い子どもたちの命に係わる安全対策は万全を帰すよう、谷藤市議が質疑します。

議案4号・市川駅南口再 開発 ペDESTリアンデ ッキ工事請負契約

一般競争入札を3月に行つたが成立せず、改めて5月に行つたところ一社のみで落札者が決まり、議会に提案されたものです。

契約相手は一社、契約額は10億2900万円。これら入札の妥当性など、金子貞作市議が質疑します。

報告4号・国民健康保険 税条例の一部改正

後期高齢者医療制度導入に伴い、夫婦といえども後期高齢者医療保険と国民健康保険に切り離され、負担が増える世帯が多く出てきます。こうした世帯への負担増の

軽減策が示されました。(いずれも国の制度)

しかし負担を引き下げるものではありません。ただでさえ負担増に苦しんでいる国保加入世帯の軽減策について、金子市議が質疑を行います。

報告9号・文化振興財団 の事業報告について、金子市 議が質疑します。

報告10号・市川市福祉公社の事業報告について、二瓶忠良市議が質疑します。

☆一般質問は5人全員が行います。詳しくは裏面をご覧ください。

市民病院「民営化」に向けた 「募集要項」の説明に意見続出

浦安市川市民病院を「民営化」するための「募集要項」の内容について、5月29・30日に、市川市議全員に報告されました。翌31日には新聞各紙に「7月から公募開始」など大きく掲載されました。

日本共産党は市民病院議会で、「医師不足で全国の小児科や産科などがどんどん撤退しているときこそ、公的医療が必要ではないか」「小児科や救急医療などの不採算医療を民営化で確実に存続できる保証があるのか」「地域医療の後退は許されない」など主張してきました。

「説明」に対しても、「意見を求めない一方的な説明はおかしい」「議会にも諮らないのは議会軽視だ」など、異論が続出しました。

全議案一括質疑が意見2分の3可決

4月30日、議会運営委員会で議長提案による全議案一括質疑制について議論されました。

議会運営の根幹にかかわる重大な問題であるため、議論伯仲し、賛否はなんと5対5と真二つに分かれました。

ところが議長が再三口を挟み、何が何でも自分の任期中に結論を出したいと迫り、委員長決断で強行、9月議会から導入を可決したのです。

これまで市川市議会は全ての議員が一議案に30分以内の持

ち時間で質疑する権利がありましたが、今度は会派の大きさに比例して質疑時間を設定し、全議案一括で会派を代表して質疑することになります。

日本共産党は、市民から負託された議員一人一人の発言する権利や義務を自ら放棄するべきではない、と一貫して反対を主張してきました。

議会の民主的運営の根幹にかかわる問題を強行突破したことは前代未聞の暴挙といわざるを得ません。

日本共産党市川市議団

2008年 6月4日発行 第221号

議会報告

連絡先: 市川市役所内日本共産党控室
(334)1111内線4591

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.jcp-ichikawa.com/>

